

# 2024年度(令和6年度) 総合計画の進捗状況レポート

資料1-1

本町では、南小国町共有ビジョン（以下「ビジョン」）の実現に向けて、まちづくりの計画（総合計画）を策定し、この計画に沿って様々な取組みを進めています。

このレポートは、計画の進捗状況（主な動きや成果等）を町民の皆様にお知らせするために作成しています。

町民の皆様には、お手数をおかけしますが、ご覧いただき、別添アンケートにより評価や意見をいただきますようお願い申し上げます。

## 〈2024年度（令和6年度）の主な動き〉

### 基本目標1に関するトピック

野焼き  
(ドローン撮影)



中学2年生  
インターンシップ

### 基本目標2に関するトピック



地域活性化起業人の  
活用

県外での  
イベント出展



### 基本目標3に関するトピック



ぬくもりの活動

元気アップ教室



### 基本目標4に関するトピック

着工前



瓜上矢田原線  
改良工事の実施



しゅん工



総合防災マップ  
の更新

## 〈基本目標に関する成果指標の推移〉

基本目標	指標の推移（総合計画上期(2020～2024年度)）						
	開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
1. 雇用を守り、増やし、創り出すとともに、次世代を担う人材を育て活かす	指標(単位)		町内事業所数(社)				
関連ビジョン 【き】【の】 関連戦略 1, 2	530	397	326	330	458	477	550 (2024年度末)
2. 新しい人・資金の流れと連携・協働の一層の促進により地域の活力を高める	指標(単位)		町民税課税額(百万円)				
関連ビジョン 【と】 関連戦略 3	136	146	142	145	152	147	142 (2024年度末)
3. 一人一人の個性・人生に応じた希望を叶えやすい環境を創り、皆が誇りを持って活躍できる地域社会を実現する	指標(単位)		ビジョン【よ】に関する将来像到達度(点)				
関連ビジョン 【よ】 関連戦略 4	-	2.79	3.09	3.23	3.25	3.20	4 (2024年度末)
4. 誰一人取り残されず、安心して暮らし続けられる町をつくる	指標(単位)		ビジョン【ら】【さ】に関する将来像到達度(点)				
関連ビジョン 【ら】【さ】 関連戦略 5, 6	-	2.84	3.12	3.20	3.18	3.20	4 (2024年度末)

※別途実施させていただく町民アンケートの集計結果により測定することとなります。

2024年度(令和6年度) 総合計画進捗状況レポート(項目別)

要点だけ確認されたい場合、白字の部分  
(特に大事な点)を中心にご覧ください。

2050年 共有ビジョン	き	築いてきた美しい里山の景観、伝統文化、生業を次世代に引き継いでいく里
2030年 の目指す姿	<input type="checkbox"/> 乱開発を防ぎ、自然豊かな姿を保っている <input type="checkbox"/> 若い世代に伝統文化や本町らしさの伝承が進んでいる <input type="checkbox"/> 農業や林業に関わる人が増えている	これらのアンケート項目に対応する取組 実績について以下に記載しています。
取組方針	〈戦略1〉 築いてきた美しい里山の自然・景観・文化を守りつつ、現在地域にある「しごと」の稼ぐ力を高めていく	

施策(1) 里山の自然・景観・文化の保全		年度毎の推移(総合計画上期(2020～2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	啓発活動実施件数(件)	15	12	15	13	15	13	20 (毎年度)
	野焼き実施面積(ha)	2,355	2,353	2,433	2,465	2,447	2,430	2,355 (2024年度末)
	日本で最も美しい村づくり活動件数(件)	3	0	4	4	3	4	5 (毎年度)
関連予算額(単位:千円)			119,656	122,357	126,765	117,874	124,595	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由  うまくいった点、 いっていない点等	◆阿蘇の世界文化遺産登録に向けた活動の一環として、昨年度に引き続き、中原地区での現地調査と、その成果発表会の実施、関係機関と連携しパンフレット等を活用した周知活動に取り組んだ。 ◆「日本で最も美しい村」づくり事業補助金を実施し、街並景観形成及び自然環境保全活動3件に補助を行い、美しい村づくりにつながる活動を支援した。 ◆本町が加盟している「日本で最も美しい村」連合に関連して、町内団体等が自主的に取組む清掃活動に係る経費に対する支援(1件)を行った。 ◆野焼き保険(弁護士特約含む)の加入や野焼きの補助の実施、ボランティアの協力により、前年と同規模の面積での野焼き実施につながった。 ◆町内の小学4年生を対象に、南小国町のゴミの処理に関して、滝美園クリーンセンターにて出前授業を実施した。							

施策(2) 農林業の課題克服と競争力強化		年度毎の推移(総合計画上期(2020～2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	荒廃農地解消面積(ha)	0.8	0.6	0.3	0.2	0.3	0.1	2.1 (期間累計)
	森林伐採面積(ha)	97	132	138	133	103	121	100 (2024年度末)
関連予算額(単位:千円)			37,591	37,888	39,497	48,088	25,419	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由  うまくいった点、 いっていない点等	◆地域計画策定に伴う集落ごとの協議を行った。営農再開により、0.1haの荒廃農地が解消された。 ◆森林伐採面積については、山林の主伐期を迎え皆伐面積が増加している。伐採届申請分においては伐採後の造林について徹底し、申請上100%の再造林率となっている。							

施策(3) 観光・サービス業の持続的成長		年度毎の推移(総合計画上期(2020～2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	本町の観光入込客数(千人)	1,087	876	786	942	1,382	1,437	1,450 (2024年度末)
関連予算額(単位:千円)			158,299	179,017	168,498	132,028	191,684	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由  うまくいった点、 いっていない点等	◆観光関係団体や関係者等と連携して、持続可能な観光関連施策を展開していくための指針となる「南小国町観光基本計画」を策定した。 ◆露天風呂の混雑状況の可視化や駐車場の混雑状況をリアルタイムで配信するシステムの導入など、オーバーツーリズムの抑制・混雑防止に対する取組みを推進した。 ◆県内外で開催されているイベントに参加し、広く南小国町のPRを行い、観光入込客数の回復及び地域経済の活性化につなげた。							

2050年 共有ビジョン	よ	寄り添い支え合い、人と人のつながりを大切にし、一人一人が誇りを持ち、多様な生き方を尊重しあえる里
2030年 の目指す姿	<input type="checkbox"/> 人々が交流する機会や場所が増えている <input type="checkbox"/> 思いやりと福祉の充実により町民生活の負担が軽減されている	
取組方針	〈戦略4〉若者、女性、高齢者、障がい者、ひきこもり、外国人等町内で暮らす誰もが充実した人生を過ごしていけるよう、人生の一層の充実に向けた希望をかなえるチャンスを創出するとともに、実現を阻むハードルを最小化していく。	

施策(10) 結婚・妊娠・出産・子育ての希望を叶える		年度毎の推移(総合計画上期(2020～2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	出生数(人)	27	21	21	19	21	11	30 (2024年度末)
	関連予算額(単位:千円)		578	827	3,426	3,761	3,034	
進捗状況 自己評価	A 良好      B 概ね良好      C やや良好でない <b>D 良好でない</b>							
上記評価 の理由  うまくいった点、 いっていない点等	◆児童の放課後の居場所を確保する施策として、教育委員会所管事業の放課後子ども教室を令和4年度より週3日から週4日に拡充して実施を継続している。 ◆令和6年4月より、町民課保健衛生係内に、要保護児童等の支援にあたる「こども家庭センター」を設置。センター長兼統括支援員と専門職員(保健師1名、社会福祉士1名)で、妊娠・出産・子育てへと切れ目のない伴走型支援を行い、専門知識を生かした支援体制の強化を図ることができた。							

施策(11) 自立支援、健康づくりの推進と生涯現役社会の実現		年度毎の推移(総合計画上期(2020～2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	要介護認定者数(人)	336	351	334	325	331	327	323 (2024年度末)
	要介護認定率(%)	21.6	22.4	21.3	20.8	21.2	21.4	20.0 (2024年度末)
	関連予算額(単位:千円)		215	120	40	300	193	
進捗状況 自己評価	A 良好      B 概ね良好 <b>C やや良好でない</b> D 良好でない							
上記評価 の理由  うまくいった点、 いっていない点等	◆介護保険被保険者数の減少により、要介護認定者数は微減となっているが、認定率は2年連続で微増となった。一方で、町主催の介護予防教室と、介護予防のためそれぞれの地域で活動する通いの場では、体力の維持改善を図ることができた。 ◆65歳以上の高齢者の就労率は県内上位ではあるが、その一方で老人クラブ加入者数は年々減少している。閉じこもり防止や高齢者の生きがい支援の観点から、今後も町として地域の活動場所を提案・支援していく必要がある。							



2050年 共有ビジョン	ら ライフラインを充実させ、地域全体で協力し、だれもが笑顔で安心して過ごせる里
2030年 の目指す姿	<input type="checkbox"/> 便利で強靱なインフラや生活環境の整備が進んでいる <input type="checkbox"/> 災害から生命・生活を守れる体制が築かれている
取組方針	〈戦略5〉 交通・買物・医療・福祉等の生活のあらゆる場面で、誰もができる限り不安や不便を感じることなく暮らしていくために、ハード・ソフト両面で必要な対策を講じていく

施策(12) 交通弱者対策の推進		年度毎の推移(総合計画上期(2020～2024年度))						上期目標 (達成時期)
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	
指標(単位)	町内の65歳以上の運転免許返納者数(人)	27	18	26	18	24	19	75 (期間累計)
関連予算額(単位:千円)			26,500	20,000	19,670	20,000	20,000	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由	<p>◆2024年度の65歳以上の免許返納者数は19名と前年を下回る数値となっており、その受け皿となっているタクシー利用助成事業は、毎年延べ1万人程度利用いただいており、2024年度も延べ約1万人程の方が助成事業を利用いただくなど、高齢化が進むなか、一定の役割を果たしているものと考えます。タクシー利用助成事業の内容についても多くの利用者の方から満足をいただいている。</p> <p>◆2021年度10月から南小国町と小国町の中心市街地を巡るコミュニティバス「にじバス」を運行している。運行は平日のみで、2024年度の利用者数が2,451人、月平均は約204人となっており、昨年度を上回る人数となっている。今後も利用促進の取組を進めつつ、運行内容の見直しをする。</p>							
うまい点、 いい点等								

施策(13) 医療・介護・福祉の連携による包括的なケアの推進	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない
上記評価 の理由	<p>◆小国郷医療福祉あんしんネットワークの活動を通じ、小国公立病院を中心に在宅医療の支援体制の構築を図った。今年度はデジタル(DX)を活用した医療・福祉サービスの勉強会などを行った。</p> <p>◆令和6年11月に、小国郷の町民を対象としたフォーラムを開催し、立ち上がりテストや認知症VR、福祉用具の体験など、病気やケガを予防するための知識を習得し、福祉に関する理解を深めた。また、町民や事業所に対し、小国郷相談マップの配布・周知を行った。</p>
うまい点、 いい点等	

施策(14) 地域住民の生活を支えるインフラの整備及び管理		年度毎の推移(総合計画上期(2020～2024年度))						上期目標 (達成時期)
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	
指標(単位)	道路改良計画のある7路線の整備進捗率(%)	41	48	52	63	70	72	80 (2024年度末)
関連予算額(単位:千円)			84,181	70,819	90,245	57,347	41,000	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由	<p>◆7路線のうち、重点事業である町道中湯田赤迫線(瓜上矢田原線)の令和5年度繰越工事の完了により整備進捗率が若干向上したが、他6路線については整備計画の見直し等により事業実施を見送ったため、上期目標である整備進捗率80%を達成できなかった。</p>							
うまい点、 いい点等								

施策(15) ICT・IoT技術の導入による新たなまちづくり		年度毎の推移(総合計画上期(2020～2024年度))						上期目標 (達成時期)
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	
指標(単位)	ICT・IoT導入件数(件)	1	1	2	4	0	3	5 (期間累計)
関連予算額(単位:千円)			6,057	4,773	26,102	5,301	32,646	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない							
上記評価 の理由	<p>◆令和5年度にスタートしたコンビニ収納や、コンビニ交付サービスの利用が浸透し、利便性が向上した。コンビニ収納は約7,000件でコンビニ交付は約470件の利用があった。</p> <p>◆デジタル田園都市国家構想交付金を活用した3つのサービスの導入を行った。1つ目は外国人の来庁者が多くなったことにより、多言語に対応ができるタブレット・モニターを導入した。2つ目は保育園での様々な連絡等を行う事ができるアプリを導入し、保護者・保育園共に利便性が向上した。3つめの書かない窓口については、令和7年度から本格導入となるが、転入時の手続きなど何度も同じ情報を手書きしなければならないものを住所や氏名を一度書くだけで済むようになるため、負担軽減が図られると同時に行政サービスの満足度向上につながる。</p>							
うまい点、 いい点等								

施策(16) 防災・減災体制の強化		
進捗状況 自己評価	<input type="radio"/> A 良好 <input checked="" type="radio"/> B 概ね良好 <input type="radio"/> C やや良好でない <input type="radio"/> D 良好でない	
上記評価 の理由  <small>うまくいった点、 いっていない点等</small>	◆令和6年6月に南小国町地域防災計画書を修正し、併せて情報が古くなった総合防災マップの更新事業を行い、最新の危険箇所情報や避難情報などを記載した防災マップを作成した。 ◆防災士資格を持つ職員により、きよらチャンネルにおいて定期的な防災講話の配信を開始した。 ◆南小国町国土強靱化地域計画の点検を行い、災害による被害を最小限に抑え、迅速な復旧復興へとつながる災害に強く安心安全な地域づくりを推進するため、各課局が推進すべき取組みの方向性を確認した。	

  

施策(17) 情報発信・相談支援体制の充実		
進捗状況 自己評価	<input type="radio"/> A 良好 <input checked="" type="radio"/> B 概ね良好 <input type="radio"/> C やや良好でない <input type="radio"/> D 良好でない	
上記評価 の理由  <small>うまくいった点、 いっていない点等</small>	◆町民が相談しやすい役場を作ることを目的に、接客技術の向上のためにサービス向上研修、クレーム対応研修を行った。 ◆町内の消費者被害、多重債務問題を解決するために、消費生活相談窓口専門相談員を配置した。 ◆地域包括支援センターの運営については、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師が連携し、町民や高齢者の家族からの相談に対し、必要に応じて現地を訪問し生活環境の改善を提案している。 ◆2022年7月より、南小国町役場公式LINEアカウントによる情報発信を開始した。広報誌やケーブルテレビ番組、文字放送、ホームページ等で登録の周知を行い、2025年3月時点で登録件数は1,700件を超えている。職員の防災連絡や消防の連絡網としても活用され、町民の情報源として急速に認知が広がっている。ホームページと連携したアンケート等も行った。今後も他市町村のLINE活用事例等を参考に、さらに利活用の幅を広げられるよう取り組んでいく。	

2050年 共有ビジョン	<b>の</b> のびのびと学べる環境の中ですべての人が夢に向かって挑戦できる里
2030年 の目指す姿	<input type="checkbox"/> 子供達が地域ならではの体験等を通してのびのびと学んでいる <input type="checkbox"/> みんなが夢を持ち、語りあい、互いに挑戦を応援しあっている
取組方針	〈戦略2〉 地域内における人材育成と新たな「しごと」づくりを促進していく

施策(4) のびのびと学べる環境の整備		年度毎の推移(総合計画上期(2020～2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	小中学校の学習環境に対する満足度(点/4点満点)	－	3.40	3.45	3.51	3.48	3.33	3 (毎年度)
関連予算額(単位:千円)			17,140	877	715	950	901	
進捗状況 自己評価	A 良好 <b>B 概ね良好</b> C やや良好でない      D 良好でない							
上記評価 の理由  うまかった点、 いっていない点等	<p>◆GIGAスクール関係補助事業を活用することで、児童生徒のための学習用コンピュータの整備は目標以上の1人1台の整備済み。</p> <p>◆故郷を愛する心を育成するための教育プログラムでは、小学4年生の「里山自然体験活動」や中学1年生の「農業民泊体験活動」、中学2年生の職場体験活動を発展させた「まちインターン」を実施し、児童生徒の満足度は目標指数を超え、「南小国町の良さ(郷土のすばらしさ)」を知ることにつなげることができた。今後も継続して実施していくとともに、将来、「ふるさと南小国町で生活をしたい」と思えるよう、更なる活動内容の充実を図る必要がある。</p> <p>◆学校給食センターについては、建設用地が確定しなかったことにより改修を行うことができなかった。今後は建設用地の検討協議等を進め、老朽化した施設の早期改修に向けて引き続き取り組む。</p>							

施策(5) 新たな挑戦を育てる		年度毎の推移(総合計画上期(2020～2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	起業及び新規事業による売上総額(千円)	－	8,723	6,855	43,023	63,113	106,970	50,000 (2024年度末)
関連予算額(単位:千円)			56,862	27,527	62,057	75,294	61,059	
進捗状況 自己評価	<b>A 良好</b> B 概ね良好      C やや良好でない      D 良好でない							
上記評価 の理由  うまかった点、 いっていない点等	<p>◆起業塾などの開催を通じて、令和7年度から新たに2名の起業型地域おこし協力隊が活動することになるなど、本町での新たな挑戦を育てる活動が継続して行われている。</p> <p>◆南小国町商工会と連携して実施している特定創業支援等事業について、令和6年度も創業を志す方々に対する支援を行い、特定創業支援に係る証明書を7件交付した。</p> <p>◆2021年度から取組を行っている「まちの人事部機能の創出による人材還流促進及びデータバンク構築・利活用事業」で南小国町しごとコンビニについても登録者は127名となり、稼働回数も約600回となり少しずつ地域に浸透している。また、小国公立病院やJA小国や郵便局など小国町に所在地があるものの小国郷全体に波及効果がある事業者との連携を行った。</p> <p>◆町外からの移住者や関係人口を創出するための「ワーキングバケーション事業」、「ローカルトリップ」や未来づくり拠点MOGの利用促進や情報発信を行い、若者世代の獲得、企業との連携、町内事業者との連携などに取り組んだ。</p> <p>◆南小国夢チャレンジ事業により、起業や新規事業による地域活性化に取り組んだ。</p>							

2050年 共有ビジョン	さ	再生可能エネルギーを地域資源から生み出し、有効活用し、未来につながる豊かな暮らしを実現できる里
2030年 の目指す姿	<input type="checkbox"/> 再生可能エネルギーの産出・活用が進んでいる <input type="checkbox"/> 木材がより有効に活用されている	
取組方針	〈戦略6〉 木質バイオマスの活用や小水力発電等の再生可能エネルギーの導入、省エネ及びCO2削減につながる動きを促進していく	

施策(18) 木質バイオマスの活用推進		年度毎の推移(総合計画上期(2020～2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	町内における木質バイオマス燃料使用量(t)	－	183	199	221	161	150	930 (期間累計)
関連予算額(単位:千円)			658	300	750	1,500	3,000	
進捗状況 自己評価	A 良好      B 概ね良好      C やや良好でない      D 良好でない							
上記評価 の理由  うまくいった点、 いっていない点等	◆木質バイオマスボイラの運用に関しては特に大きなトラブルもなく順調に稼働している。薪ストーブ、ペレットストーブの導入に関しては、バイオマス産業都市の認定にあたり、補助率及び上限額を引き上げたが、設置台数は2台に留まっている。資材や設置費用の高騰による影響もあると考えられるが、より広報や周知などに力を入れる必要がある。							

施策(19) 新たな再生可能エネルギーの導入推進		年度毎の推移(総合計画上期(2020～2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	役場関与により導入された再生可能エネルギー施設等による年間発電量(kWh)	0	0	5,833	7,774	7,802	4,982	400,000 (2024年度末)
関連予算額(単位:千円)			2,250	2,390	9,168	4,716	2,050	
進捗状況 自己評価	A 良好      B 概ね良好      C やや良好でない      D 良好でない							
上記評価 の理由  うまくいった点、 いっていない点等	◆太陽光発電設備等の導入は1件の補助金の交付を行った。 ◆住宅用太陽熱利用システム3件の導入について補助金の交付を行った。							

施策(20) 省エネルギーに関する活動の推進・促進		年度毎の推移(総合計画上期(2020～2024年度))						
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024	上期目標 (達成時期)
指標(単位)	町民の省エネ活動促進のための普及啓発事業(回)	2	13	4	9	9	6	12 (毎年度)
関連予算額(単位:千円)			0	5	5	5	5	
進捗状況 自己評価	A 良好      B 概ね良好      C やや良好でない      D 良好でない							
上記評価 の理由  うまくいった点、 いっていない点等	◆令和7年3月に、子どもデイサービス利用者を対象として、本年度サントリーと締結したペットボトル水平リサイクルの内容をもとにエコ教室を実施した。また、住民が生活の中で実施している廃棄物の分別が、どのように省エネルギーに対し貢献しているのか、広報誌に記事を掲載した。加えて、町の公式ホームページには、ごみ分別カレンダー及びCO2排出量の最新情報を掲載した。 なお、目標の件数は満たすことができておらず、今後更に積極的な周知が必要であると考えている。							

2050年 共有ビジョン	と 共に連携し、世界とつながり、世界に誇れる幸福な暮らしができる里
2030年 の目指す姿	<input type="checkbox"/> 町外・国外から本町及びその地域資源等への注目度が高まっている <input type="checkbox"/> 本町への移住者や移住希望者が増えている <input type="checkbox"/> 町外で本町のために活動する人や企業が増えている
取組方針	〈戦略3〉 地域内外の人同士、団体同士のつながりが生まれ、育つ環境を整備し、新たな人やお金の流れを地域の維持・発展の原動力にしていく。また、つながりをうまく活かし、戦略的な外商を推進しながら、地域経済の中でできる限りお金が循環するようにし、地域の経済的な豊かさを高めていく

施策(6) 「ウィン・ウィン」な関係でつながる連携や協働の推進	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない
上記評価 の理由  うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆SMO南小国を中心として、若者世代の獲得、企業との連携、町内事業者との連携などに取組み、移住を含めた外部人材を獲得できた。</p> <p>◆地域活性化起業人として、2024年度からサントリーホールディングス(株)、日本郵政(株)から2名の方が派遣され、それぞれの知見を活かし様々な取り組みを行っていただいた。</p> <p>◆本年度サントリーホールディングスとペットボトル水平リサイクルの協定を締結し、ペットボトルの生産における資源の循環をはじめとする、廃ペットボトルの処理に係る環境負荷低減を実現する体制を整備した。</p>

施策(7) 新しい人の流れをつくる		年度毎の推移(総合計画上期(2020～2024年度))					
		開始前	2020	2021	2022	2023	2024 上期目標 (達成時期)
指標(単位)	移住定住施策による移住者数(人)	6	3	3	11	12	12 (期間累計)
	関連予算額(単位:千円)		8,311	19,385	6,340	20,680	28,940
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない						
上記評価 の理由  うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆東京・大阪で実施された対面での移住関連イベント等へ出展し、移住相談や本町のPR活動を展開した。</p> <p>◆起業塾などの開催を通じて、令和7年度から新たに2名が起業型地域おこし協力隊が活動することとなり、町への移住につながった。</p> <p>◆東京・大阪で実施された対面での移住関連イベント等へ出展し、移住相談や本町のPR活動を展開した。</p> <p>◆SMO南小国と連携して企画した、都市部在住の方や民間企業等を対象とした「移住体験ツアー」を実施し、移住体験として町内に実際に来てもらうことができた。将来的な移住等を検討される方の発掘に繋がった。</p> <p>◆町内に移住等を検討されている方に対して、相談対応を59件、「空き家バンク」登録物件の内覧対応を46件行った。</p> <p>◆移住定住コーディネーターによる相談体制の拡充は図れたが、「空き家バンク」の登録物件数を増やせなかったため、マッチングが上手くいかないケースもあった。一方で、新たに移住希望者向けの住宅として「暮らし体験住宅」、「空き家活用住宅」の運用を開始できたため、移住者の確保に繋がった。</p>						

施策(8) 戦略的な外商の推進	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない
上記評価 の理由  うまくいった点、 いっていない点等	<p>◆県内外で開催されているイベントに積極的に参加し、物販などを通して広く南小国町のPRを行い、観光入込客数の回復及び地域経済の活性化につなげた。</p> <p>◆令和7年度に開催される大阪・関西万博に南小国町として出展することが決定し、国内をはじめ世界に本町の取組みを発信する機会を得ることができた。</p>

施策(9) 地域経済におけるお金の循環を高める	
進捗状況 自己評価	A 良好 B 概ね良好 C やや良好でない D 良好でない
上記評価 の理由  うまくいった点、 いっていない点等	◆町民向けの「商工会プレミアム商品券」の発行を支援したほか、全町民に対し1万円分の「くらし応援券」を配布するなど、物価高騰等の影響で打撃を受けている地域経済と町民の生活を支援した。